

項目	説明	
試料・情報の利用	研究課題名	両側大腿骨頭置換術後の前立腺癌に対する重粒子線治療
目的 及び 利用方法	研究目的	<p>重粒子線治療は前立腺癌の根治的治療方法のひとつです。当院での過去の研究でも、前立腺癌に対する重粒子線治療の有用性が示されています。重粒子線治療は、飛程の終末付近で高い線量を付与するブラッグピークと呼ばれる物理学的特徴により、高い線量集中性を示します。重粒子線の飛程は物質の原子番号や密度によって規定されますが、金属のような原子番号や密度の高い物質を通過する場合、飛程が極端に短くなります。加えて体内金属がある場合には CT の画像に影響を及ぼし、重粒子線治療の線量計算が正確に行えないことがあります。</p> <p>前立腺癌に対する重粒子線治療では、前立腺に対して体の横方向から照射しますが、大腿骨頭置換術後ではビームの通り道に金属が存在するため、前立腺まで治療ビームが到達できません。片側の大腿骨頭置換術後の前立腺癌に対する照射方法は過去に検討されていますが、両側大腿骨頭置換術後の症例については過去に報告がありません。</p> <p>そこで両側大腿骨頭置換術後の前立腺癌症例に対する重粒子線治療について、照射方法や有害事象について検討します。</p>
	研究対象者	2015 年 12 月から 2022 年 5 月までに当院で重粒子線治療を開始した両側大腿骨頭置換術後の前立腺癌の患者さんを対象とします。
	研究期間	西 暦 2 0 2 2 年 6 月 1 3 日 ~ 西 暦 2 0 2 3 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (放射線治療計画データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理 についての責任者	当センター研究 責任者	高草木 陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/ 部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研究機 関および各施設での研究責任 者	とくに共同研究機関はありません。
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 放射線治療科 高草木陽介	